

「本物の瞑想」を科学で実証した
世界で唯一の“ヨガ・サムラット”が教える

最強の瞑想法

あなたはまだ知らない。「真の瞑想」が何を可能にするかを。
そして巷に溢れる「間違っただ」瞑想やヨガ、
さらには話題の「マインドフルネス」の危険性も。
業界全体を敵に回す覚悟で、その真実を明かします・・・

世界最先端に行く Google・Apple・インテル、大手デパートチェーン Target、大手食品メーカー General Mills など、世界のトップ企業がこぞって「瞑想」を研修プログラムに取り入れています。

スティーブ・ジョブズ氏は生前、業務時間内に 30 分間の瞑想をすることを推奨していましたし、Apple 社に瞑想ルームがあることもよく知られています。瞑想によって創造力が開発されたことは、彼らの数々のイノベーションが実証しています。

インテル社は世界の 10 万人の従業員に対し、2 ヶ月以上にわたる瞑想トレーニングをベースとしたプログラムを展開し、仕事のパフォーマンス向上に大きな成果を上げています。

ペンタゴン（アメリカ国防総省）でも、緊急事態や極限状態での困難に立ち向かえる強い意志力と精神力を養うため、そして PTSD（心的外傷後ストレス障害）の緩和などのために瞑想が本格的に導入されています。

瞑想の導入は企業や組織に限りません。

トップアスリート、ハリウッドのトップ俳優など、多くの著名人が実践者です。

もちろん、あなたの人生や仕事にも、大きな効果を及ぼすことは間違いありません。しかし、このような潮流に警鐘を鳴らす、一人の人物がいます。

35年も前に、本場インドが“ヨガの王”として 認めた瞑想の「大家」

その人物とは・・・

ヨガ・サムラット（ヨガの王）
川上 光正 先生。

川上先生と瞑想との出会いは、ボディビルに遡ります。

50年近く前に、IFBB・国際ボディビル連盟公認 第1回ミスタージャパン ボディビル日本選手権大会で総合優勝を果たし、その後バクダッド開催の世界選手権大会でも入賞を果たしました。



ボディビルを通じて、その後長きにわたる師となるインドのヨガマスター、モノトッシュ・ロイ（Monotosh Roy）氏に出会い、インドと日本を行き来した川上先生は、やがてヨガの最も厳しい行の一つである「**痛みのコントロール（長い針を舌に通す）**」を達成。



全インドヨガ文化協会から、日本人として初めて「ヨガ・サムラット（ヨガの王）」の称号を与えられ、その偉業がインドの新聞にも掲載されました。今から35年以上も前のことです。

自身の瞑想状態やヒーリング効果を科学で実証 した、世界でも唯一無二の存在

そんな川上先生の熟達した実践の数々・ゆるぎないパフォーマンスなど瞑想水準の高さに注目した「バイオフィードバック理論、ホリスティック医学」の世界的権威でもある米国サンフランシスコ州立大学教授のエリック・ペパー博士、カナダヨーク大学教授のスー・ウィルソン博士からのオファーによって、その後10年間ほどに渡る瞑想とその成果を実証する共同研究が始まりました。



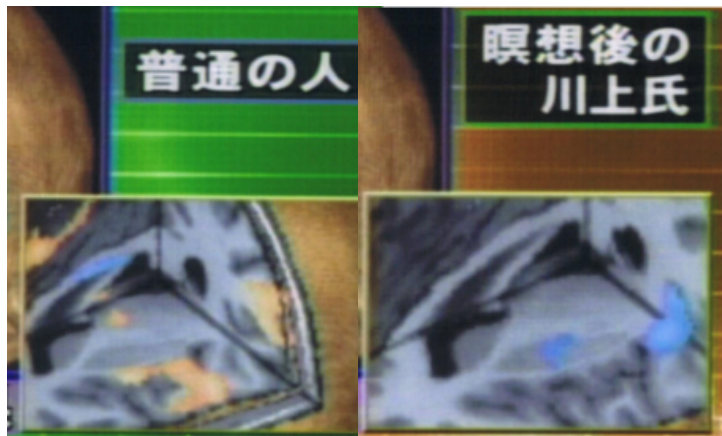
そして、ソウルヒーリングやチャネリング、ヨガ・瞑想・呼吸気法など応用精神生理学の共同研究を行い、世界に通用する膨大な共同研究による論文を、実に10タイトル以上発表。

国内でも「臨床脳研究の第一人者」と言われる順天堂大学医学部客員教授・国立大学法人総合研究大学院大学教授の柿木隆介博士との共同研究に寄与しました。

それは、深い瞑想状態から痛覚をコントロールし、レーザー光線を当てた際の痛み（本来は、タバコの火を押し付けるほどの拷問に値する痛み）を消し去るというもので、MEGとf-MRIで脳の状態を計測、実際に痛みを感じていないことを世界で初めて実証し、ヨーロッパ疼痛学会より共同研究論文が世界に向けて発表されました。



川上先生と柿木教授



瞑想で痛みを消し去った脳の状態を実際に計測

その後も、半世紀近くにわたり延べ 15 万人以上のクライアントに、ヨガ・瞑想・呼吸気法はもちろん、瞑想心理学・潜在心理学、瞑想修法、経営心理、経営哲学、潜在心理学、精神哲学を教授してきました。

クライアントには故安倍晋太郎氏（安倍晋三首相の父）もいらっしやり、川上先生の圧倒的な実力を取材するメディアも後を絶ちません。



川上先生と故安倍晋太郎氏

つまり、精神世界を科学的実証に基づいて語れる世界でも類まれな存在が川上先生なのです。

巷の瞑想やヨガ、今話題のマインドフルネスに 潜む「危険性」とは？

では、その川上先生が警鐘を鳴らす昨今の「瞑想ブーム」に潜む問題とは何なので

しょうか。

その一つは、実は以前から指摘されていました。

米カリフォルニア大学アーバイン校のデイビッド・シャピロ教授が1992年に行った研究では、瞑想を行った人の7%がパニックや鬱などの深刻な心理状態に陥っていたのです。近年、米国から日本へと流入してきたマインドフルネスに対しても、英国の研究者たちが同様の指摘をしています。

しかし、45年以上にわたって瞑想時の意識状態を解明・研究してきた川上先生にしてみれば、瞑想ヨガによってパニックになったり、不安感や喪失感が増したり、幼い頃の潜在意識・胎内意識に記憶された心の傷・トラウマが浮かび上がってくることは、今さら驚くようなことではないそうです。

問題は、こうしたケースで、多くのマインドフルネス指導者やヨガインストラクターが誰もそれを解決したり、正しくガイドしたりできないことなのです。

なぜなら、それらを教えている人たちが、本質を知らずに瞑想ヨガを指導しており、真の瞑想を実践して熟達している師に師事していない我流のインストラクターや、潜在心理学・瞑想心理学を理解していない指導者ばかりだからです。

そしてもう一つの問題は、本質を知らない未熟な指導者やインストラクターが、表面的に掠め取ったスキルやテクニックばかりを教えるせいで、ヨガや瞑想がもたらす本当の(しかも絶大な)効果が失われてしまっているということです。

ヨガや瞑想の本当の効果とは、単に体が健康になるとか、疲れが癒されるとか、ストレスが解消されるとか、頭がスッキリするとか、集中力が増すとか、パフォーマンスが上がるとか、そんなことにあるわけではありません。

もちろん上記のような効果は得られますが、あくまで通過点に過ぎません。

川上流「最強の瞑想法」とは

その先に得られる、2つの大きな果実があります。

それは、いずれも、これから激動の新時代を生き抜く上で必須の力であるとともに、あなたを本当の幸せに導いてくれるものでもあります。

川上先生は、それを特に、これからの時代を担うリーダーの方々に手にしてほしい

と願っておられるようです。

その背景には、日本のリーダーに対する強い危機感があります。

技術や産業はこれほどまでに進歩し、国も企業もコンプライアンスを叫ぶ世の中であるにも関わらず、社会は大して良くなっていない。

後を絶たない企業不祥事、モラルの低下による不正行為やその隠蔽、利益ばかりの追求、繰り返される争いや環境破壊・・・

ここにはトップの判断ミスや洞察力・倫理観の欠如が大きく関与しています。なぜ彼らは、いつまでも同じことを繰り返すのでしょうか。

表層的な瞑想ブームと、日本のリーダーが抱える問題。
この両者には共通するある問題があります。お分かりになるでしょうか？

「魂」の話が欠けているのです。

魂を抜きにした瞑想は、瞑想が拓く本当の世界にたどり着くことができません。

魂が曇ったリーダーは、迷走し流され、転落します。

組織のリーダーは、真の瞑想を通して、経営心理や経営哲学、そして精神哲学を学ぶ必要がある。そう川上先生は言います。

真の瞑想とは、精神哲学と一体であり、深層心理に迫る「魂との対話」を実現するものである、とも。

瞑想を通じて自己の意識を内面に奥深く向け、心声を聞き、魂の記憶を呼び覚まし、「魂との対話」を通じて本当の自分とは何か、魂とは何かを知り、使命を発見できると説いています。

その結果得られるのが、先ほどお伝えした2つの大きな果実です。

それが、

「魂のイノベーション」と「魂のマネジメント」

です。

「魂のイノベーション」は、単なる技術革新ではありません。それは、真の瞑想による「魂からの啓示」によって、あなたの創造性・思考を一変させる秘法です。

人工知能を超える“超然の発想”とも言うべき閃きやアイデアを引き出し、あなたの魂が強く求める念いを具現化した価値創造を可能にするものです。

「魂のマネジメント」とは、表面的なマネジメントではありません。自己の魂と対話し、純粹無垢な精神を手に入れることで、「必然に」高い理念を構築し、遵守し、冷静沈着な経営戦略や創造的な企業経営による社会貢献を可能にするものです。

その先には、周囲とは一線を画した意識創造がイノベーションの波として押し寄せ、自分自身はもちろん家族や部下、顧客や取引先、ひいては社会全体を幸せにする卓越した発想・アイデア・閃きが待っています。

その実現のために必要なものこそ、本物の指導者のもとで学ぶ真の瞑想であり、はるか昔から口授口伝で伝えられてきた叡智なのです。

この「最強の瞑想法」を一人でも多くの人にマスターして頂ければ、きっと日本からも“GAFA”(Google、Apple、Facebook、Amazon)を超える企業、世界を牽引するリーダーが生まれ、愛に満ちた平和な新時代を実現できることでしょう。

その実現のために、この度、川上先生が半世紀近くにわたる実践と指導の中で確立されたこの「最強の瞑想法」について直接ご指導頂ける講座の開講が決定しました。

日付は2019年11月23日(土)～25(月)の3日間、東京23区での開催です。
(10月11日(金)～13日(日)も開催しますがこちらは残席わずかです)

まずはこの3日間のスケジュールを確保して下さい。

詳細は、9月に東京で開催する「最強の瞑想法」体験会&説明会の中でお伝えします。

ぜひこの体験会で川上先生と直接お会いになり、「本物の瞑想とは何か」をご自身で確かめた上で、講座への参加を決定して下さい。

ともによりよい未来を創っていただけることを、心より願っています。

株式会社リアルインサイト 代表取締役 鳥内 浩一

川上光正先生 プロフィール

- * 全米 AAPB 学会会員
- * 日本ヨガ健康学会会長
- * 日本潜在心理学会理事長
- * 川上流ヨガ宗家総本部代表
- * 日本前世心理療法協会会長
- * 一般社団法人日本潜在心理カウンセラー協会代表理事
- * 一般社団法人日本経営心理コンサルタント協会代表理事
- * 一般社団法人国際瞑想ヨガ文化連盟会長



長崎県出身。

ヨガ・瞑想・呼吸気法・ソウルヒーリング・ホーミーヒーリング・

潜在心理学・瞑想心理学・ヨガ健康学・胎内心理療法・潜在心理療法・前世心理療法・経営心理学・精神哲学の研究者で、多くの「川上メソッド」を創案。1972年、IFBB・国際ボディビル連盟公認、第1回ミスタージャパンボディビル日本選手権大会で総合優勝。同年、バクダットで開催された世界選手権大会で入賞。

1983年、全インドヨガ文化協会より日本人として初めて“ヨガサムラット”(ヨガの王)の称号を授与される。

1998年4月より、米国サンフランシスコ州立大学教授エリック・ペパー博士及びカナダ ヨーク大学教授スー・ウィルソン博士とソウルヒーリングやチャネリング、ヨガ・瞑想・呼吸気法など応用精神生理学の共同研究を行い多くの論文を発表。2003年、岡崎国立共同研究機構(現自然科学研究機構生理学研究所)の柿木隆介教授と共同研究を行い、深い瞑想状態から痛覚をコントロールしレーザー光線の痛みを心頭滅却。MEGとf-MRIにて世界で初めて実証し、ヨーロッパ疼痛学会より共同研究論文が世界に向けて発表される。

共同研究による論文タイトル：

- 『クンダリーニーヨガ瞑想の生理学的関連要因：ヨガ完成者についての研究』
- 『痛みと出血の随意コントロール』
- 『痛み緩和のための呼気の利用：ヨガ行者による痛みの随意コントロールからの見解』
- 『思考の限界が現実における限界である』
- 『痛みと出血の随意コントロールに関する予備的観察』
- 『ヨガ行者による串刺し及びホーミーヒーリング：QEEG所見』
- 『ヨガマスターによるピアシングによる生理学的関連要因：痛みと出血のコントロール』
- 『治療効果の促進 ヨガ行者、教師、指導者、ヒーラーである川上氏からの所見』
- 『1分間2呼吸のヨガ呼吸法 ヨガマスターによる1分間2呼吸での呼吸における生理学的関連要因』

『瞑想中には痛みを感じないというヨガマスターにおける痛みの脳内処理』

全国放送のTBS「探検!ホムンクルス-脳と体のミステリー」を始め「さんまのからくりTV」「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!」など多くのTVに出演。

2007年夏、長野県で開催された第24回生命情報科学シンポジウム<不思議現象を説明できる「新しい世界像を求めて」>で講演。意識・思念・心が脳を変え、痛覚制御が可能なことを証明し反響を呼ぶ。

46年間、延べ15万人以上のクライアントにヨガ及び呼吸気法、瞑想心理学・瞑想修法、経営心理、経営哲学、潜在心理学、精神哲学を教授し、瞑想指導師クンダリニーヨガマスター・マスターソウルヒーラー・スピリチュアルアドバイザー・経営心理コンサルタントとして国内外で活躍中。



川上光正先生「最強の瞑想法」 体験会 & 説明会 開催概要

日時

第1回：9月7日(土) 14:30～17:00 (開場 14:00)

第2回：9月8日(日) 14:30～17:00 (開場 14:00)

第3回：9月10日(火) 19:00～21:30 (開場 18:30)

※3日間とも内容は同じです。ご都合のよろしい方にご参加ください。

会場

東京・神田のセミナールーム (お申込頂いた方のみにご案内します)

講師

川上光正先生

参加費

5,000円 + 消費税 (税込合計 5,400円)

定員

各回 60名限定

お申込方法と注意事項

ご希望の日程をクリック後、案内にしたがってお手続き下さい。

会場の関係上、定員は60名限定となります。ぜひお申込はお急ぎ下さい。

第1回体験会(9月7日 14:30～17:00)に参加

第2回体験会(9月8日 14:30～17:00)に参加

第3回体験会(9月10日 19:00～21:30)に参加